



YOTSUBA NO TAYORI 山の田地区まちづくり協議会 四つ葉のたより 検索

第12号
2019年7月発行

発行 山の田地区まちづくり協議会
〒751-0834 下関市山の田東町 4-13 (北部公民館 2F)
TEL: 083-250-7955 · FAX: 083-250-7965
ホームページ: <http://yotuba2017.sakura.ne.jp>

令和元年度 通常総会開催

◆と き 令和元年5月18日(土)午後7時
◆と ころ 北部公民館4階ホール

わたしたちは、人と人をつなぐ架け橋となり、にぎわいのあるまちづくりをめざします。



山の田地区まちづくり協議会の令和元年度通常総会が開催されました。村尾会長や前田市長をはじめ来賓の挨拶の後、議長に田部産業・文化部長が選出され、全4議案とも、原案通り可決されました。

- 第1号議案 : 平成30年度活動事業報告・決算報告及び監査報告
- 第2号議案 : 部会長・副部会長・部会員変更報告
- 第3号議案 : 顧問の委嘱
- 第4号議案 : 令和元年度活動事業報告(案)及び収支予算(案)



ご 挨拶

国が抱える人口減少、少子高齢化と同様に、山の田地区も過去10年間に人口は、1.99%減少、65才以上は、81%増加、高齢化率も25%から32%に高まり、世帯数は340戸減になっています。30年の平成時代を経て、新たな令和が始まりましたが、私たちがなすべき事は、大きく変化するとは思っておりません。当協議会が発足し3年が経過しましたが、新しい時代への幕明けを契機として、もう一度原点に返り、自ら地区の課題を掘り起こし解決して、「元気な山の田地区」を作り上げていかなければと考えています。今後とも、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

山の田地区まちづくり協議会 会長 村尾 寛

山の田地区地域力アップ事業

四季折々の花が咲き蝶が 乱れ飛ぶ美しい街づくり

2月10日(日)豊浦町にある「リフレッシュパーク豊浦」でフジバカマの苗を採種したものを持ち帰り、草取りをし、土を耕し肥料をまき準備を整えた各地区の自治会と学校の、公園や花壇等に植え付けていきました。

各地区の植え付け数は、大学町は60ポット、幡生は130ポット、山の田は170ポット、武久は70ポット、学校は60ポット、その他82ポット、合計で572ポットにもなりました。

雑草取り、水やり、看板立てと、一連の育成管理を行ってきたところ、フジバカマの苗は、すくすくと育ち、秋の開花と花にひかれて来る蝶の飛来が楽しみです。

昨年、武久団地自治会で、春から荒地を耕して植えたフジバカマがよく育ち、秋に沢山の花をつけました。開花に合わせて、多くのアサギマダラが飛来し花の周りを飛び回り、近隣住民の多くの人達が喜び楽しみました。

山の田地区では、今年の秋のフジバカマの花の開花時期に、アサギマダラの群れが現われて、「蝶が来た」と皆さんが楽しく鑑賞できるように期待しています。



山の田地区「資源ごみ回収事業」の 取り組み(実施)



下関市が推奨の資源ごみの再資源化とごみ減量化を推進する「再資源化推進事業」(再資源対象物を収集し、直接回収業者に引き渡す事業)を、まちづくり協議会が窓口になって、各自治会に働きかけたところ、7自治会から賛同を得て、昨年10月にスタートしました。

水曜日と木曜日の指定日に出す対象資源ゴミを土曜日に変更するだけです。

家庭から出されたものに限りです。

**対象物は、新聞・雑誌・ダンボール等
アルミ缶・飲料用スチール缶**



現在利用しているゴミステーションに出します。

毎週土曜日の朝9時までに出して下さい。

出す要領・古紙・新聞は、中身の見える袋に入れて出します。

・ダンボールは、十文字の紐かけにして出します。

・アルミ缶と飲料スチール缶は中身の見える別々の袋で出します。

事業実施に賛同した自治会は7自治会と少数でしたが、平成30年10月から、平成31年3月31日までの6か月間で資源物回収重量は、30,620kgに達し、市のごみ減量に貢献できました。

再資源物回収賛同自治会は現在8自治会で、ごみ減量に取り組んでいますが、まだ参加されていない自治会には引き続き積極的な参加を呼び掛けていきます。

今後も引き続き資源ごみの土曜日回収にご協力下さい。



まちの話題



4月14日 山の田地区グラウンドゴルフ大会

4月14日(日)午前8時45分から、山の田地区(山の田・大学町・武久)スポーツ推進協議会主催のグラウンドゴルフ大会が、山の田小学校・山の田中学校のグラウンドで開催されました。

参加29チーム、99名の選手で受付と開催事項の説明後、競技を始めました。

晴天の中、葉桜や、藤の花の咲く広い学校のグラウンドでは、選手の歓声が上がり、打ったボールが

コースの中の砂場に埋まったり、窪地に入って大きく曲がったりと、なかなかゴールに届かずスコアがまとまらなくて悪戦苦闘するも、皆楽しくコースを回り、親睦と交流を深めることができた一日でした。

団体優勝は、武1東A、2位 大学3C、3位 武西クラブAでした。ベストgrossは、武1東 松野氏、ホールインワンは13名でした。

次回の大会を楽しみに終了しました。



4月17日 第6回幡生地区ふれあいグラウンドゴルフ交流会 【生野校区スポーツ振興会・幡生地区社会福祉協議会共催】

4月17日(水)午前8時30分から幡生宮の下近隣公園グラウンドで開催されました。50名が参加、3ラウンドを8組に分けて個人戦を戦いました。

優勝は宝町第一の女性でスコア51:ホールインワン2・2打11の好成績。2位は幡生宮の下町の女性でスコア54:ホールインワン3・2打7、3位は幡生西の男性

でスコア57:ホールインワン1・2打12でした。

春と夏の開催も6回目となり、みなさん和気あいあいと楽しみながらプレーし、11自治会住民のふれあいの場となっています。



4月27日 大学町地区みまもり隊活動実施 【安全・安心部会】

4月27日(土)午後6時30分から8時30分まで、大学町地区の「みまもり活動」を実施しました。安全・安心部会の会員を中心に11名が夜の見守りの服装で、見せる行動と声掛け活動で、地区住民が安心に暮らせるよう気配りしながら、防災、防犯関係のチェックも行った。夜間一部に暗い箇所があるものの、当日は事故も

なく見回り活動は終了しました。今回で、見守り活動は3回目、効果を高めながら、安全で安心のまちづくりに寄与したいと部員全員で頑張っています。



5月22日 認知症トレーナー・サポーター研修の開催 【幡生地区社会福祉協議会】

平成29年11月の第1回「認知症トレーナー・サポーター研修」から早くも1年6か月が過ぎた5月22日(水)午前10時から、幡生宮の下コミュニティ会館で、幡生地区社会福祉協議会主催の第2回目の研修会を実施しました。自治会長・民生児童委員・福祉員・保健推進委員からなる幡生地区社協構成員33名が参加し、北部地区包括支援センターのセンター長ほか4名の

スタッフ・市福祉協議会コーディネーター1名の指導のもと「徘徊者への対処の仕方」「声掛けの心得」を具体的に解り易く説明を受けたのち、「徘徊者への声掛け訓練」「警察への通報訓練」などを7つのポイントを思い出しながら実践しました。

また、いきいきサロンの情報提供を受け、地域の支えあい活動の輪を広げていく足掛かりを学びました。



5月31日 徘徊者搜索と声掛け模擬訓練の実施 【宝町第一・宝町第二 自治会共催】

5月31日(金)午前9時30分から、宝町集会所及び宝町周辺地域で「徘徊者搜索模擬訓練」を実施。

両自治会より56名が参加し、真剣にこの講座に取り組みました。

北部包括支援センターの指導により、「雨の中の声掛け模擬訓練」や搜索のむつかしさを実感し、「かかわる勇気と

タイミング」、「何をどう話しているのか」など声掛けの要領を学びました。

「今後も、訓練を重ね、認知症の理解を深めたい」という意見が多く出され、有意義な研修となりました。

